

札幌市を取り巻く財政環境と今後の見通し

- わが国の経済状況は、札幌市を含めて雇用・所得環境の改善が続いており、景気は長期にわたる回復を持続しているが、先行きについては、海外経済の不確実性等に留意が必要である。
- 国は、2021年度までは2018年度地方財政計画と実質的に同水準の地方一般財源総額を確保する「一般財源総額実質同水準ルール」の下、地方財政については健全化が進んでいるとの認識を示している。
- しかし、平成から令和に引き継がれた多くの課題、とりわけ、世界的にも経験したことのない人口減少や少子高齢化の急速な進展は、我が国の経済が直面する最大の壁となっており、今後の見通しは決して楽観視できない。
- 札幌市の財政状況については、「アクションプラン2019」に掲げた中期財政フレームのとおり、扶助費や公債費の増加だけではなく、公共施設等の更新需要やまちのリニューアルに伴う財政需要の増加が見込まれているところである。
- さらに、中期財政フレームを作成する際に見据えた15年間の長期的な財政見通しにおいては、令和6年度以降も建設費や公債費が増加するなど、今後も厳しい財政運営が見込まれる。

中期財政フレーム【AP2019版】

(単位:億円)

	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	R1~R4合計	R1~R5合計
<b>歳入</b>							
一般財源	5,535	5,562	5,574	5,585	5,597	22,256	27,853
国・道支出金	2,911	2,969	3,034	3,103	3,184	12,017	15,200
市債	552	674	621	661	827	2,507	3,334
【臨財債を含めた場合】	【1,032】	【1,154】	【1,101】	【1,141】	【1,307】	【4,427】	【5,734】
その他	1,211	1,224	1,196	1,183	1,154	4,814	5,968
基金活用額	18	45	156	101	168	320	488
合計	10,227	10,474	10,580	10,634	10,930	41,914	52,844
<b>歳出</b>							
義務的経費	5,643	5,773	5,840	5,912	5,982	23,168	29,150
職員費	1,566	1,580	1,560	1,561	1,545	6,267	7,813
公債費	869	897	910	917	939	3,593	4,533
扶助費	3,207	3,296	3,370	3,434	3,498	13,307	16,805
他会計繰出金	1,062	1,073	1,085	1,104	1,117	4,323	5,440
建設事業費	1,034	1,149	1,114	1,195	1,445	4,493	5,938
その他事業費	2,489	2,478	2,540	2,423	2,385	9,930	12,316
合計	10,227	10,474	10,580	10,634	10,930	41,914	52,844
(計画事業費)	(2,132)	(2,249)	(2,290)	(2,258)	(2,472)	(8,928)	(11,400)

年度末基金残高	657	659	635	584	466	-	-
市債残高(一般会計)	11,103	11,397	11,631	11,895	12,288	-	-

令和2年度予算編成方針の基本的な考え方

- 市長の2期目において初めて編成する本格予算であり、施政方針に掲げる「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」・「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」の心豊かで明るいさっぽろの未来の実現に向けた予算編成を目指す。
- 「アクションプラン2019」に掲げる計画目標の達成を加速するための「まちづくりの取組」と、その実効性を担保する「行財政運営の取組」を着実に推進。
- 局マネジメントを推進し、「アクションプラン2019」の計画期間を通じた弾力的な事業運営や市民ニーズに即応した効果的な事業構築を継続。

予算編成方針のポイント

1 「アクションプラン2019」に掲げる取組の推進

- 「アクションプラン2019」において計画化された事業は、政策経費として、中期財政フレームに基づき、一般財源及び市債に局要求枠を設定。
- 計画対象外の事業(一般経費)については、計画事業を実施するために必要な財源を確保するため、令和元年度予算の時間外勤務手当や需用費等の事務的経費から▲10%のシーリングを実施した局配分枠を設定。

<局マネジメント経費>

経費区分	枠の区分	対象事業	シーリング
一般経費	局配分枠	計画対象外事業	▲10% (事務的経費)
政策経費	局要求枠	計画対象事業	-

- 各局の自主的な見直しを進めるためのインセンティブや、局マネジメント枠の年度間調整を引き続き実施する。

2 将来を見据えたバランス重視の財政運営

- メリハリの効いた財政運営  
まちと人の未来への投資に積極的に資源を配分するなど、選択と集中をより一層明確化し、メリハリの効いた財政運営を実施。
- 持続可能な財政構造への転換  
時代の転換点にあって、安定的に行政サービスを提供していくため、行政が行うべき役割、サービスの水準、受益者負担の水準などについて様々な視点で検証・評価し事業の再編・再構築につなげていく。
- 将来世代に過度な負担を残さない健全な財政運営  
・長期的な財政の持続可能性を見据えたうえで、計画期間の収支を中期財政フレームとして示し進捗管理を行うとともに、市債や基金の適切な管理を行い、将来世代に責任ある財政運営を堅持する。  
・市有建築物の整備のうち改築・大規模改修は、事前に周辺施設との関連を踏まえた将来の施設のあり方について、公共施設マネジメントの視点での確認を行う。

編成スケジュール

10/23 (水)	予算編成方針通知	1/中旬	市長査定
11/1 (金)	予算要求書提出期限	1/下旬	予算記者発表
12/1 (水)	予算要求公開		